



宗岡二中だより 5月号



令和元年5月7日（火）

志木市下宗岡 4-1-10 TEL048-472-1516

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒

「オリンピックは参加することに意義がある」とは

校長 滝沢 慎

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。「オリンピックは参加することに意義がある」とは、近代オリンピックの父と言われるクーベルタンの言葉として有名です。クーベルタンは、IOC（国際オリンピック委員会）の会長として、近代オリンピックの開催に多大な貢献をしました。現在の5つの輪（五輪の旗）もクーベルタンが考えたものです。

この言葉は、1908年のロンドンオリンピック当時、アメリカとイギリスの対立があり、その時の晩餐会である教会の大主教の言葉を引用したものだそうです。オリンピックには、「より早く、より高く、より強く」という理念があります。「参加することに意義がある」とは、弱くてもいい、負けてもいいという意味ではありません。

これは、ずるいことをして、ただ勝てばいいというわけではなく、『参加するための努力の大切さ』と『参加し、ひたすらに、純粹に、勝つために正々堂々と競技し、練習・努力することに意義がある』ことを教えているのです。

さて、18日（土）に、第38回体育祭が開催されます。本年度は、全校を縦割り3チーム（色）に分けた対抗戦となります。定められた、時間、場所を有効に活用しながら、練習・努力してもらいたいと思います。けがや体調不良等で、残念ながら競技には参加できない人もいます。応援をしたり、係などの自分の役割を務めるなど、今、出来ることを為すのも、立派な「参加する」ことです。

宗岡二中は、東京2020オリンピック・パラリンピック教育実践校「ようい、ドン!スクール」として、認証されています。この体育祭が未来のオリンピックの誕生につながると素晴らしいですね。

あいさつ、学習、思いやり、奉仕、鍛錬

